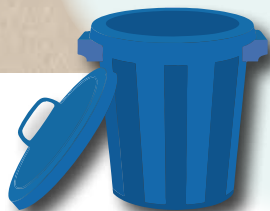


ごみ減量・プロジェクト



～ “1万トン減らそう” 未来のために !! ～

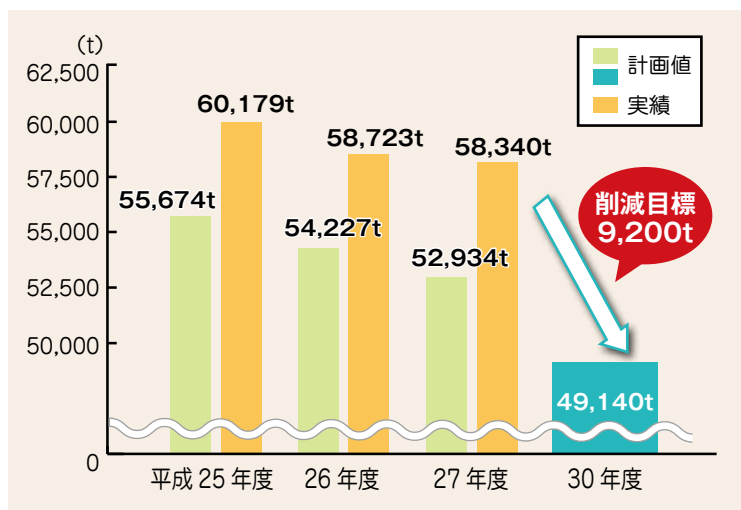
問 環境総務課 (☎824・0911)

◆ ごみ減量緊急事態宣言 ◆

- 平成27年度の焼却ごみ量は、計画値より約5400トンも超過しています。
- このままでは、平成30年稼働開始予定の新焼却施設の焼却能力を超えてしまい、稼働に影響を与える可能性があります。

市の
ごみの
現状

焼却ごみ量



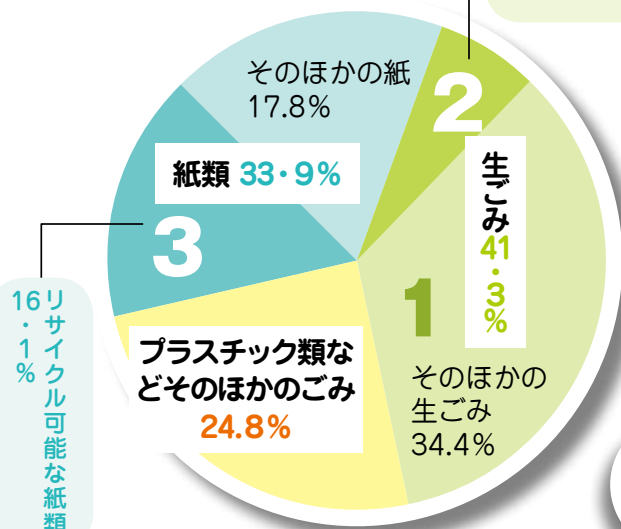
ごみは見た目の
「大きさ」ではなく、
「重さ」です。



出されたごみを調査してみると…

家庭から出された可燃ごみの 分析調査から

手を付けていない
食料品 6.9%



可燃ごみの中には、
リサイクルできる
雑紙が多く
混ざっています！

ごみの中には、
手を付けて
いないまだ食べる
ことができる食料品が、
約 **6.9** パーセントも
含まれています！

生ごみの中には、
約 **80** パーセントの
水分が含まれて
います！

※減らすことができるごみがたくさんあることが分かりました！

では、どうやって
ごみの量を減らせ
ば良いでしょうか？



どうやって
ごみを
減らす？

この**3**つの取り組みを行えば…

年間合計約 **1万トン** の**ごみ**が
削減できます！

1 生ごみの水切り



生ごみの中の
水分をもう一
絞り



生ごみに含まれている**80パーセント**
の水分を**60パーセント**にすると、
年間約 **2,300トン** の削減に！

◆ 生ごみの中の
水分をもう一絞り！ ◆



水切り器具を利用
するか、手で直接
ギュッと絞ってご
みを軽くする



2 食品ロス

可燃ごみから取り
出した、まだまだ食
べられそうな食品



◆ 食べることができ
る食品、もったいない！ ◆

- 食材を
 - ・買い過ぎない
 - ・使い切る
 - ・食べ切る
- 冷蔵庫や食品庫の中を
整理する

残さず
食べよう！ **30・10** 運動
(サンマルイデマル)

宴会など、外食の際に、食べ
残しを減らすよう、「乾杯後30
分は料理を楽しむ」「お開き10
分前は、食べ残しがないよう、自
席に戻って料理を楽しむ」という
取り組みです。

手付かずの食品を全て消費すると、
年間約 **2,300トン** の削減に！



取
り
組
み
な
で
し
よ
う
！

3 雑紙



リサイクル可能な
雑紙を分別しよう！



リサイクル可能な紙類を全てリサイクル
すると、年間約 **5,500トン** の削減に！

◆ 雑紙を可燃ごみに
出さないで！ ◆



■ 古紙回収に出せる紙 ■

- ラップの芯
- 紙パック
- 広告紙
- ティッシュ箱
- お菓子の箱



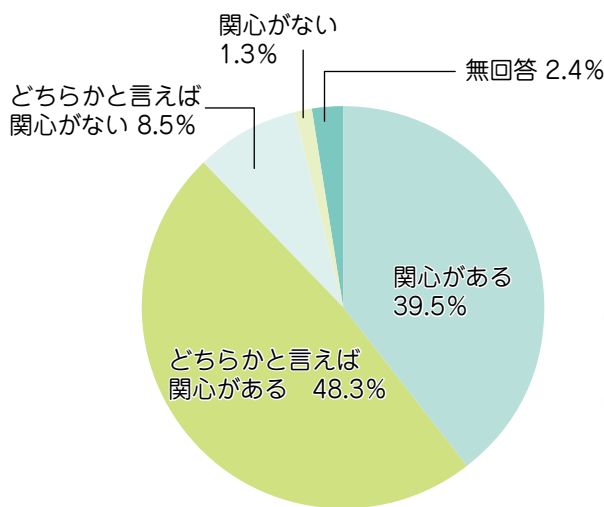
市民の ごみに 対する意識

ごみ減量・リサイクル

～アンケート調査から～

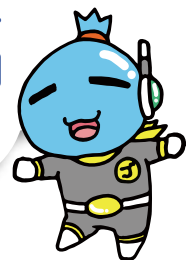


ごみ減量やリサイクルについて関心がありますか？



ごみの分別などについて、**男性よりも女性の関心が高く**、また50歳代以上の市民に比べ、40歳代以下の**市民の関心**が低くなっています。

これから多くの世代に
ごみ減量の大切さを周知していきます。



日頃から心掛けていることはありますか？

- 資源とごみは分別している
- 詰め替え商品を選んで買っている
- 生ごみは「水切り」して出している
- 資源集団回収に出している
- マイバッグを持参し、レジ袋を断っている
- 白色トレイなど店頭回収に出している
- 使い捨て商品をなるべく買わない

これらの心掛けを
市民全員で取り組めば、もっと**ごみ**
を減らせそうです！



市が認定する、上級ごみ減量マイスターとして、平瀬幸雄さん(日新町)は、地域の人たちになぜごみを減量しなければいけないのか、また、分別の仕方や生ごみの水切りなど具体的な方法について啓発しています。

小さな活動が、大きな成果に

上級ごみ減量マイスター



平瀬幸雄さん
(日新町)

ごみ減量
マイスター
に聞く





ごみ減量の

いろいろな取り組み

市は、ごみ減量に取り組む市民の皆さんへ、力強い支援を行っています。



府内トップクラスの報奨金！

資源集団回収活動

地域の自主的な活動の一つとして資源集団回収を奨励し、新聞・雑誌・雑紙などの古紙類、古布、アルミ

缶の回収量に応じて、報奨金1キログラム当たり6円を交付しています。
※団体の登録は随時受け付けています。



水切り器の実演！

ねやがわ発出前講座などでごみ減量方法を紹介

ごみ減量に関する出前講座や、コミセン祭りなどで、生ごみの水切り方法などを実演しています。水切り器を利用し、使い勝手などのアンケートに答えてくれる人に、水切り器を配布しています。

ごみ減量についての出前講座

▽場所 市内の会場を申込団体が用意
▽対象 市内在住・在職・在学の10人以上で構成する団体など
※日時、申込方法など、詳しくは環境総務課へ問い合わせてください。

生ごみ処理機など購入費の一部補助

生ごみ処理機又は生ごみ堆肥(たいひ)化容器を購入する人に費用の一部を補助します。購入前に補助金の交付申請をしてください。

持ち込みごみの一部無料引き取り

ごみの持ち込みには手数料がかかりますが、分別された古紙・古着は無料で引き取ります。



い。
▽対象 市内で継続して使える市内在住の人
※補助金額、申請方法などは問い合わせてください。

くりしてくれると笑います。

市の未来のため、「環境人間」を育てる

地元の自治会や子ども会では40年余り前から、古紙とアルミ缶を回収しています。平瀬さんが一緒に回ると、進んで生き生きと活動している子どもたちの笑顔にいつも感動するそうです。最初に参加した子どもも多くはもう社会人になりました。家庭や地域、会社など身の回りでごみ減量を実践する「環境人間」に育っているはずですよ。

いずれ、市民一人一人が、ごみを分別・減量し、できるだけごみを出さないようになり、最終目標は「市から燃えるごみは一切、出さない」「リサイクル可能なごみは、リサイクル率100パーセント」と、熱く語りました。

